



この地で生きると決めた日から

子どもの頃から父親の仕事の関係で転校を繰り返してきた私には、故郷と呼べる場所がありませんでした。大人になつてからも、

日本とアメリカを行ったり来たりしていたので、一つの場所ですぐに住むことはなかつたのです。

幼い頃からこのようなライフスタイルを送ってきたせいか、特別に寂しいと感じたこともありませんでした。私の心はどこにいても「よそ者」だったのかもしれない。

しかし、そんな私が主人と出会い、この先ずっと阿南で暮らしていこうと決めた日から、今までの私のライフスタ



宝田町 新居 浩江さん

しさに触れ、出会いやご縁を大切に思い、「しっかりとこの地で生きています」と実感しています。

この場所から、さらにさまざまなことにチャレンジし続け、全力で生きていこうと思います。そしていつの日か、この阿南という地が私の本当の故郷になることを願っています。

次は、日開野町の篠原好貴さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会選

佳作 森岡 圭子
柔らかき雲肩に掛け鉄塔は稜線越えてマズルカの春

佳作 西條 悦子
桜散り柳青みて水逸る村に方便たづみのふくらみ始む

佳作 棚野 久子
病室に短歌うた詠まんとし筆記具を持ちこし姉よ眠るばかりに

佳作 京寛 幸美
「みつけたぞ」と夫は笑顔で駆けてくる手にさみどりの露のとう持ち

佳作 矢野 道子
春潮のひかり輝く声うらら園児等は四月学童なのだ

佳作 西 あつ子
猪に筒掘られ甲斐も無く穴埋め帰る足の重たし

佳作 山根千代美
花に酔ひ花に浮かるる吉野山哀史は遠く山動かざる

佳作 原 美智子
太平洋臨みて小坂奇石の碑「波濤萬里」と太く刻まれ

俳句

阿南市俳句連合会選

河内 順子
幼きも踊浴衣に踊髪

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

東條 明宏
田中 千香
水口 精二
古川北斗星
宮崎 三千代
小西 晴美
近藤 まい
藤本 弘子
多田紀久代

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

持木 寿栄
照れているトマトと話すまた明日

野口 吾朗
掛かりたい一度香水紅の罨

佐藤つたえ
捨てられず残しタンスに逆もどり

西田 修身
幸せか答え笑っているばかり

臣守 愛香
ときめきは無いがちよっぴり気が弾む

仁井 信子
会員外応募
好きなひとみな空の上秋彼岸
退院へ地に足下ろし深呼吸
島尾美津子